

椿油のブランド化による地域振興（長崎県五島市）

事例の概要（事業名：遊休農地解消対策事業、ながさき「食と農」支援事業）

過疎化及び農業者の高齢化により、担い手不足、離農等に伴い、**遊休農地が拡大**している状況である。このようなことから、**古くから地域に自生している椿に着目し、搾油作物として遊休農地へ植栽を奨励**することにより、**遊休農地の解消及び椿油のブランド化による地域振興**を図るものである。

- 五島市
 - ・長崎県の西部に浮かぶ五島列島の南西部に位置する市
 - ・野生のヤブツバキが群生している。
 - ・椿油生産量全国第2位



（耕作前）



（耕作後）

事例の内容

事業内容

- ・遊休農地に椿苗を植栽（平成22年度：10haの遊休農地に10,000本植栽）
- ・**椿苗代**（概ね30cm以上の椿苗で実がなるもの）、**作業賃金**（草刈り、地拵え、植栽作業）の補助

○補助内容

- ・椿苗代 100本/10a（無償提供）
- ・作業賃金 41円/1㎡

総事業費

平成22年度 11.2百万円
（うち過疎債 7.5百万円）

事業の効果

- ・椿を増産する事で**安定した生産体制の確立**
- ・椿油による地域産業の活性化
- ・五島椿まつり（椿盆栽展、つばきマラソン）の開催
→観光客の誘致

○従来の収穫方法

山に自生しているもの
→収穫量にばらつきあり

ポイント

- 遊休農地に椿を植栽→耕作放棄地の解消、椿油の増産
- 高級食用油「五島カメラアバージンオイル」のブランド化
- 資生堂「TSUBAKI」商品に採用された事による五島産椿油のPR効果

昔から身近な椿に着目



「日本一の椿の島」を目指し
椿を活用した地域活性化の取り組みを行っている。